4月29日の米国株式市場の下落について

金融引き締め加速懸念、低調な企業決算などが重なる

2022年5月2日

金融引き締め加速懸念、決算下振れ、外部環境不透明で大幅安

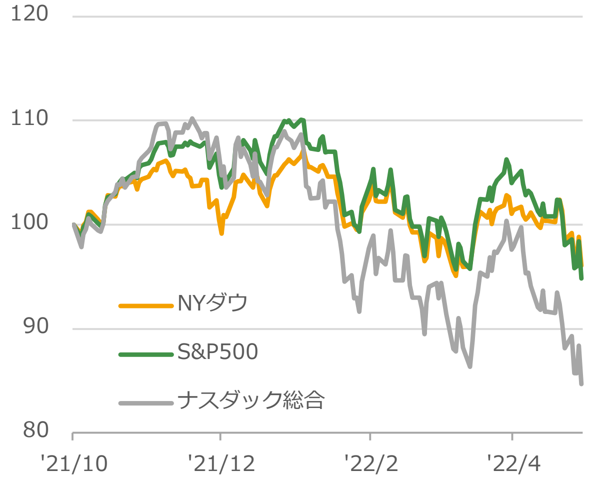
4月29日の米国株式市場は、NYダウが▲2.77%、S&P500が▲3.63%、ナスダック総合が▲4.17%と、大幅安でした。主な下落要因は、①物価関連指標の伸び率拡大による金融引き締め加速懸念、②電子商取引大手アマゾンの低調な1-3月期決算、③ウクライナでの紛争長期化や中国でのコロナによるロックダウン（都市封鎖）拡大懸念といった外部環境の不透明感などです。ただし、前日はメタ・プラットフォームズ（フェイスブック）の好決算などを材料に、NYダウが1.85%、S&P500が2.47%、ナスダック総合が3.06%と大きく上昇していたため、その反動で下落率が拡大した面もあると思われます。

物価関連指標に関しては、1-3月期の雇用コスト指数の前期比伸び率が1.4%と2001年の現行統計開始以来最大だったほか、3月の個人消費支出デフレーターの前年同月比伸び率が6.6%と約40年ぶりの高水準だったことで、今後の金融引き締めペースが一段と加速するのではないかとの懸念が広がりました。アマゾンの1-3月期決算は、最終損益が7年ぶりの赤字になったことや、4-6月期の見通しが低調だったことなどが嫌気されました。

今後の米国株式市場ですが、まずは5月3・4日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）で、どのような政策方針が示されるのかが注目されます。その後は月次あるいは四半期の物価関連指標で金融引き締めの効果が表れてくるのを待つ局面となりそうです。

米国主要株価指数の推移

（2021年10月初～2022年4月29日）

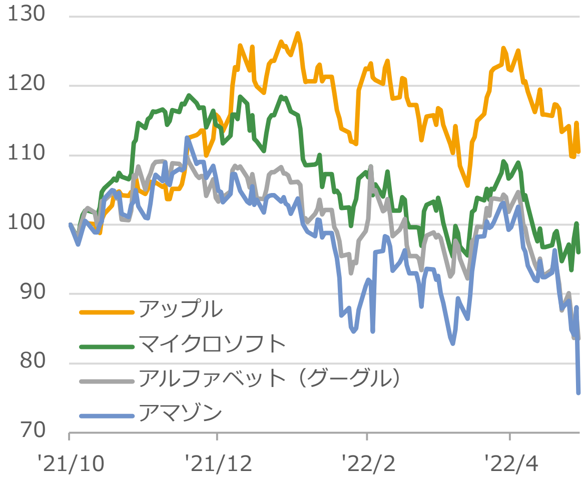


※2021年10月初=100として指数化

（出所）ブルームバーグより大和アセット作成

米国時価総額上位企業の株価推移

（2021年10月初～2022年4月29日）



※2021年10月初=100として指数化

（出所）ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management
URL https://www.daiwa-am.co.jp/　お問合わせ 0120-106212 (受付時間 9:00～17:00)